



今こそ、農業

農業で地元を元気にしたい！そんな思いで和みの杜は立ち上がりました。

農業生産法人 株式会社 和みの杜

令和7年8月8日 情報交換 益子暁彦

会社概要

社名 農業生産法人（株）和みの杜 代表者名 高野和久

2014年5月農地300aにて法人を設立し、2024年農地30haに拡大。

農業開始は2013年、当時は代表の高野と益子2名でスタートしました。

令和7年5月現在

従業員数 48名（パート・技能実習生を含む）

本社・農場 さくら市早乙女

加工工場 さくら市鹿子畑（旧金鹿小学校）

食堂・倉庫 矢板市こぶし台

ベトナム営業所 ハノイ市（オフィス・養鶏場）

ベトナム飲食店、開業予定

事業内容



農産物生産 (30 h a)



干し芋加工 (600t/年)



収穫体験 (2~6回/年)



レストラン運営 (30席)



商品販売 (ネット通販)



保管・配送 (キュアリング)



移動販売 (冬季・イベント)



養鶏 (鶏卵) 4,000羽

主な農産物生産

- ・ 水稲 18ha ・ 甘藷 8ha ・ 馬鈴薯 3ha ・ 麦 (大麦小麦) 7ha ・ 苺 15 a (ハウス 4棟)
- ・ 鶏卵 400羽
- ・ レストラン、養鶏用飼料 少量多品種生産 (栽培練習も兼ねて)

運送会社が参入した動機

- ① JA 全農様からの運送の仕事が減った。(予算が減った)

大規模な農業法人は増えたが離農する農家がそれ以上に増えている。

その為に耕作放棄地が増えてきた。(近隣の綺麗な水田が・・・)

※農地が空いていて、少しでも耕作放棄が減るならば私たちが作れば良い？

- ② 運送会社の定年後の仕事に農業を会社として出来ないのか？
- ③ 一次産業は強い？無くならない？
- ④ 運送との関連がある。
- ⑤ 配送先で原料不足の話聞いた (人参・馬鈴薯)

参入前に検討した事項

① 年間雇用できる農業

- ・ 定年後の働く場所作りがコンセプトに有るので年間雇用できる作物選びと栽培面積のバランス（冬季の作業どうする？）

② 機械力より人力な作物

- ・ 米麦、大豆、蕎麦は面積が大きくなるが人は少なくなる。

③ 農地の場所

- ・ 手間のかかる作物を近隣に、手間のかからない作物は遠くに
- ・ 積載車の導入（トラクター等を積み遠方に行くため。）

参入における課題と支援

①農地の確保

- ・異業種からの参入で1年目は苦劳した。農業以外で使うのか？ソーラーパネルで売電するのか？など疑われた。

②栽培技術

- ・当初は水稻以外の知識が少なかった為、契約栽培の割合を多くする事で技術指導を得る事ができた。

③販路の確保

- ・JA出荷が出来なかった。道の駅・都内スーパー（断られるのは当たり前）

④人材確保（人気の無い職業）

- ・65歳以上でも働ける職場・通勤時間30分以内にする為に事業所を離す。

⑤JA・市町村・県振興事務所等の支援

- ・新規は相談。1年目以降は実績。農業の先輩から力を借りる。

（受けた支援 キッチンカーの購入 サツマイモ部会の補助事業 商談会参加）

農業経営の現状

- ・ 経営規模、従業員数は年々増加、スタート時数年は赤字でしたが現在は黒字化。
- ・ 【維持は衰退】 現状維持で満足はせず常に次の事を考え行動をしている。
- ・ 【仲間作りの大切さ】 農業の師匠の言葉 他人の足を引かずに手を引きなさい。
： 農業を営む人はライバルではなく仲間。

今後の展望

- ・ 農業のテーマパーク・小さな道の駅・仲間と小さな農協（倉庫物流）

例：養鶏（採卵）→プリン？卵丼？オムライス？燻製卵？

例：サツマイモ→焼き芋・干し芋・大学芋？芋けんぴ？芋チップ？

例：ベトナム→採卵・飲食店・ツアー・輸入輸出？

★家族は家族・社員も家族・携わった人は仲間。

★独り勝ちは出来ません、仲間と共に楽しく幸せに。